

# 通木 信もれ日

Komorebi Tsushin

## 第30号

平成19年10月  
つきだて花工房発  
季刊誌

〒960-0903 福島県伊達市月館町下手渡字寺窪7  
つきだて花工房 TEL024(573)3888 FAX024(573)3887  
つきだて交流館もりもり TEL024(571)1777 FAX024(571)1787  
休館日/毎月第1、第3火曜日(休館日の前日は17時まで営業)  
つきだて花工房ホームページ <http://www.odehime.or.jp/hanakobo/>  
●つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりと  
やさしさを持ち続けるみなさまの公共施設を目指します。

### 花のアルバム

アルバムの  
30ページ

みようがの花

黄金色に輝く  
実りの里  
高く澄んだ空には  
赤とんぼの群れ  
ふるさとの秋を  
のんびり歩くと  
時間の流れが  
確実に変わるのを  
感じました



みようがの花  
高橋栄子さんのみようが畑にて(伊達市月館)

### 茗荷の物忘れ



瑞々しくハリのあるもぎたてのみようが

「釈迦の弟子である周梨般特のお墓に見知らぬ草が生えていました。生前、自分の名前も忘れてしまうほど記憶力が悪かった般特に、釈迦は名を大書して与え、般特はその札をいつも背負って暮らしました。そんな般特を偲び、その草をみようが(「名」を「荷」

日本の在来種とも、中国から伝来したものが野生化したともいわれているみようが。さっぱりした辛味とシャキッとした食感が食欲を増進させ、その独特の香りを薬しみ、食材としているのは日本食のみといわれます。みようがには花が咲く前の蕾を利用する「花みようが」と、茎を軟化栽培した「みようが竹」があり、薬味のほか、汁の実、酢の物、天ぷら、漬物などに用いられます。京漬物を代表する「しは漬け」にも「花みようが」は欠かせません。  
みようがは、シヨウガ科の多年草。現在は日本でしか栽培されておらず、北海道から沖縄まで、全国各地の人里に自生しています。葎の中、忘れ去られてしまいうような日陰でひっそりと咲くみようがの花は、淡黄色で半透明。蘭に似た趣きのある清楚なその花の命は、わずか一日です。



サルナシの実  
コクワ、シラフジ、コカなど地方によって呼び名が違うサルナシ。月館では「コウカンボ」とも呼ばれていたとか...

サルナシの若芽を香り高い健康茶に、軟らかくならかけた完熟前の果実を果実酒にどうぞ! 果実酒は黄金色を帯びたアメ色に仕上がります、その香りと舌ざわりは、果実酒の中でも別格だとか。サルナシはまさに木の実の王様です。  
①キウイフルーツに似た香り②かすかな酸味と甘み③サルやクマの大好物、クマはお腹いっぱい食べて冬眠...といえ「日本列島最高の珍果」とまでいわれるサルナシの実。栄養価が非常に高く、ビタミンCはレモンの約10倍、タンパク分解酵素を多く含み、疲労回復、強壯、整腸などに効能があるといわれています。

### 木の實の王様

「う」と名づけました。」  
みようがを食べると物忘れしやす...という俗説には、こんな由来があったようです。つまり、みようがに健忘症を促す成分が含まれているわけではありませぬ。  
みようがは浴湯用の民間薬としても知られています。葉や花穂に体を温める作用の精油が含まれているのです。細かく刻んだみようがを袋に入れて浴槽に浮かべましょう。発汗、呼吸、血液循環を促し、冷え性、肩こり、腰痛、神経痛などに効果があります。



# ふるさととは

# 秋日和

## 少年の瞳



きのうのニュースに桃狩りの様子が流れたことを話すと、恥ずかしそうに笑みを浮かべた少年の瞳が印象的でした。

沖縄県浦添市と福島市の交流プロジェクト「少年の船」で来県した平賢太君と又吉信希君は小学5年生。この日、民泊先の佐藤さんに連れられ、つぎだて花工房で思い出のひと時を過ごされました。

海のように澄んだ瞳で見た里山の風景は、少年の心にどのように映ったのでしょうか。ひと夏の風景をいつの日か思い出し、また、この場所で再会できればと願っています。

空、高く澄み流れる雲は、悠々と旅を続けます。今日は秋日和、柔らかな光りに包まれて大きく深呼吸。空気がおいしい季節です。



キッズスマイル  
「とってもおしゃれなボクでした」



保原コープ委員会の皆さま

## ひと息する時間

オープン当初からのご常連さまも多い保原コープ委員会の皆さま。主婦業の合間をぬって、よりよい食生活の提案や、ボランティア活動をされ、忙しい毎日をお過ごしのように。今日は久しぶりの休日。花工房のハーブのお風呂でホッとひと休みされました。浴室から眺める木々も日影のやさしさに心がほぐれ、小さな贅沢を実感していただけただけではないでしょうか。

## 「食を楽しむ」

日頃のご愛顧に感謝をこめて、年に2回行っている会席料理企画。四季を演出する日本料理の文化に触れつつ、食の楽しみをお伝えしたいという想いでお届けしている企画です。

前回に続きご来館いただいた市川さんのお仲間は、運ばれる料理二品一品に興味を持たれ、会話も弾んで楽しいひと時をお過ごしくださいました。

次回開催予定は2月。お誘いあわせのうえ、ぜひ、お出かけください。



市川さんと職場のお仲間

## 「40年ぶりの再会。昔話に花が咲き」

年に一度のユリの祭典、リリーフェスタの開催に合わせ、かねてからの想いが「つぎだて花工房」で実現しました。

「東北スミタ女性の集い」…代表の関口衣子さんから、苦楽を共に働いた皆との再会に喜びの言葉が溢れた。だき宴がスタート。38名の出席者は、お互いの近況報告や東北スミタの初期頃の昔話に花が咲き、楽しい時間は瞬く間に過ぎていきました。

ちょうど、糠田長畑地区の「あじさいの小径」がもつとも美しい季節でもあり、しめやかに咲いたあじさいが思い出に花を添えてくれました。

(月館町佐藤妙子様)



「東北スミタ女性の集い」ご一行様  
2年後にまたお会いする約束をして散会しました。今回、いろいろな都合で出席できなかった方、次回の出席をお待ちしています。  
(事務局より)

## 「故里の心を歌う」

7月に発売されたCD「会津望郷歌」(カップリング曲「故里よ」)で全国をキャンベーン中の、歌手・春奈かおりさんが、月館町出身・埼玉県在住の佐藤マチ子さんと一緒に花火大会を楽しまれ、つぎだて花工房にお泊りくださいました。曲の作詞・作曲をされた新田晃也さんは伊達市梁川町のご出身で、地元でのPRにも一段と力が入ります。

春奈さん、お元気ですか? つぎだて花工房のスタッフも応援しています。お休みに気をつけて「会津望郷歌」、ヒットを飛ばしてくださいね!



CDジャケットの落ち着いた着物姿とは違う、キュートな一面も見せてくださいました  
(右:春奈かおりさん  
左:新田晃也さん)

## ご案内

- 宿泊料金(年末年始も同一料金です)…1泊2食 ¥6,500～税込(一部屋にお入りになる人数によって料金が変わります)
- 宿泊部屋…和4室、洋2室収容32名 ●チェックIN・OUT…チェックイン16時・アウト10時 ●施設…会議室・大広間・ラウンジ
- 駐車場…40台 ●忘・新年会鍋コース…期間11月22日～1月31日 お一人様3,000円～(8名様より)【バスの運行もご相談ください。】



連載  
11回目

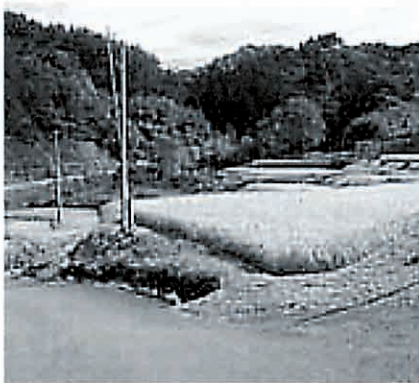
今も残る棚田の風景に  
 先人の暮らしを振り返る  
 金風わたる季節

人々は美りに感謝し、収穫を祝う  
 宮みの原点を、大地に感じて  
 ふるさとの小径を歩いてみよう

水沼の棚田

「月鑑」水沼

町道坂蔭線の終点と国道399号  
 が交わるところ、坂蔭線の右手に棚田  
 が広がっています。この棚田は区画整  
 理されていないため、形も大きさも不  
 規則な田が何枚も重なるように広が  
 っています。この辺りの山間の田んぼの  
 本来の姿を残した棚田といえます。



石垣

「布川字小池田」



布川の赤井堂から石垣に向かい、犬  
 飼の熊野神社のすぐ近くから左に折  
 れて上っていくと、すぐ右側に大きな  
 石垣が目に入ってきます。この石垣は  
 130年位前に積まれたものだといわ  
 れています。  
 石垣には  
 収穫した  
 稲束を干  
 す、大き  
 「ハセ」が  
 りつけられ  
 ていて、黄  
 色の衣をま  
 といます。

つきだて  
花工房

バースデー  
コンサート

平成19年8月8日 昼・夜2回公演

チェンバロ…五十嵐裕子・坂野孝子・山崎充子 ヴァイオリン…富山宏基



毎年、趣向を変えて行っ  
 ているチェンバロコンサート、4回目となった今年は  
 希少な2段チェンバロも加  
 わり、演奏の幅がさらに広  
 がりました。会場には音楽  
 を題材にした作品を多く描  
 いたフェルメールの絵が  
 飾られ、バロック時代の雰  
 囲気を演出。親指と小指を  
 使わないチェンバロ奏法「オ  
 ールド・フィンガリング」の  
 説明なども交えながらプロ  
 グラムが進行しました。意  
 表をついたヴァイオリン奏  
 者の登場やハッピーバース  
 デーの合唱など、今年も  
 アットホームな演奏会とな  
 りました。

バースデークイズ

(今年のプログラムに登場した音楽家)

\*右と左を線で結んでください。回答はウラ面です。

- A) F.クーパー • • ④\* (1543~1623.7.4)
- B) W.バード • • ②\* (1685.3.21~1750.7.28)
- C) J.テュフリ • • ③\*\* (1668.11.10~1733.9.12)
- D) J.S.バッハ • • ①\* (1681.3.14~1767.8.27)
- E) E.イザイ • • ⑤\*\* (1715.1.12~1789.7.15)
- F) G.Ph.テレマン • • ⑥\*\* (1687.7.16~1931.5.12)

もりもり体験 from リヴィアcity WARA SHOES

アメリカのリヴィア市と月館町が、  
 かねてから行っている「少年の翼」  
 ホームステイプログラム。今年は14  
 名の皆さんが来日し、8月8日~16  
 日の間、月館町の各家庭で日本の  
 生活を楽しくて行かれました。  
 この日は交流館もりもりで「わら  
 ぞうりづくり」に挑戦。日本人顔負  
 けの器用な手つきで粘り強く3時間。  
 完成したワラぞうりはそれぞれにお  
 持帰りいただきました。



「健康は足元から!」 次回のワラぞうり作りは  
 1/26(土)に予定しています。

秋・冬も、時間をつくって  
 つきだて花工房へ GO!!

忙しい忙しい...と毎日が過ぎてしまっていないですか?  
 加速度に流れる時間を、今日だけは軌道修正。  
 新しい生活の営みを提案するつきだて花工房の教室・体験メニューの  
 一部をご紹介します。(要予約)

ハーブ教室

毎月、ハーブ苗の  
 お土産付、1年通えば  
 ご自宅に立派な  
 ハーブ園が完成しそう!



季節のひとしな

栗羊羹

◆材料◆8人前

- 栗(正味125g分)
- 牛乳 90cc
- 水 90cc
- 砂糖 40g
- 塩 少々
- 粉末寒天 3g
- ゼラチン



◆作り方◆

- ①栗の皮をむき、蒸して裏ごしする。
- ②①をすり鉢ですりペースト状にする(ミキサーに  
かけてもよい)
- ③寒天を水で煮とくす
- ④③に牛乳、栗ペーストを入れ温め、砂糖、塩で  
味を整える
- ⑤人肌に冷めたら、容器に流し、冷蔵庫で固める
- ⑥お好みの大きさにカット器に盛る

\* つきだて花工房の秋の膳でお召し上がりにな  
 れます。  
 \* トッピングにくりせんべいや、甘露煮をのせてお  
 楽しみください。

- 10月 14日(日) フラワーアレンジメント教室 (山中厚子先生/3800円/10:00~12:30)  
 プリザーブドフラワーでアレンジメント ※「プリザーブド」とは「保存する」という意味。生花にプリザーブド加工をし、生花  
 のみずみずしさや風合いを長期間保つことのできるプリザーブドフラワーで楽しくアレンジしてください。
- 11月 24日(土) 地粉でうどん打ち (高野和子さん/大人1200円 子供600円/9:00~12:00)  
 地元産の小麦粉「絹吾妻」でうどんを手作り! 試食とお持帰り付です。 ※ご家族での参加もぜひどうぞ。
- 12月 2日(日) 注連縄作り (菅野幸一さん/800円/9:00~12:00)  
 8日(土) ミニ門松作り (斎藤健一郎さん/大人1000円/10:00~12:00)  
 手作りで新年を迎えましょう。年神さまを迎える目印の門松、迎えた年神さまに留まってもらい、居場所を示す注連縄づくりに  
 挑戦してください。
- 1月 20日(日) おらいの味噌仕込み (菅野ミヨさん/2500円/10:30~12:00)  
 27日(日) 手作り豆腐 (斎藤チヨ子さん/900円/10:00~12:00)  
 豆の香りが漂う中で、大好評の味噌仕込みとコクたっぷりの豆腐づくり。定員あり。お早めにお申送ください。

- 毎月開催
- 絵手紙教室 10/22・11/19・12/10・1/28・2/25・3/24 (和田恵秀先生/1000円/10:00~12:00)
  - ハーブ教室 10/15・11/26・12/17・1/21・2/18・3/17 (瀧田勉先生/1800円/10:30~12:00)

- 花工房 ライブラリー ●分校の子供たち(大西暢夫)
- なんでもスープ(音羽和紀)
- 花工房BGM ●無伴奏チェロ組曲 ヴィオラ・ダ・ガンバとチェンバロのための  
 ソナタ:パハ ●ピアノ・ソナタ第15番「田園」、第17番「テン  
 ペス」:ベートーヴェン ●クリスマス物語:シュツ

楽・百人一首 第24番

このたびは 幣もとりあへず 手向山 紅葉の錦 神のまにまに 菅原(菅原道真)  
 あわただしい出発で捧げものの準備ができなかった菅原道真が、美しい手向山の紅葉を代わりにお受け取り  
 くださいと詠んだ歌。 ※幣=旅の安全を祈って神前に捧げるもの



# 微笑むあなたに 天使は抱擁を忘れない

「ぼく、あいにくきたよ」

明川 哲也 作

「幸福の王子」

オスカー・ワイルド 原作 曾野綾子 訳

## Memory 秋の夜長の小さな朗読会

平成14年 世界がもし100人の村だったら  
ふたごのき

15年 泣いた赤おに・ひろったラッパ

16年 葉っぱのフレディ・おおきな木

17年 夕鶴・詩集、ありがとう

18年 わが友ノーム・ナヌクの贈りもの

おばあちゃんは木になった

そして、6年目の今年…

大西暢夫さん  
初映画監督作品

昨年の朗読会に  
駆けつけてくださっ  
た「おばあちゃんは  
木になった」の著者  
であり写真家でもあ  
る大西暢夫さんが「水  
になった村」で映画監督デビューをされました。



2006年、日本最大のダムに沈んだ岐阜県徳山村。その直前まで、村での暮らしを続けた数家族の老人たちと大西監督の15年に渡る歳月を、ドキュメンタリーで描いた作品です。この夏、東京を皮切りに上映開始!詳しくは公式ホームページをご覧ください。(http://web.mac.com/polepoletimes)

**木もれび30号プレゼント**  
つきだて花工房で作品展を  
行った若松倫夫さんの書籍  
「花と実の混色手帖」を  
2名様様にプレゼント。

に記入いただいた個人情報につきだて花工房が責任をもって管理・保護し、当館ののご案内をお送りするほか、マーケティングのために利用させていただきます。

官製はがきに住所、氏名、年齢、と木もれび通信30号で印象に残った記事及び感想等をご記入の上、プレゼント応募券を貼ってつきだて花工房までお送りください。平成19年11月30日の消印まで有効です。

(佳代)

つきだて花工房 Presents

# 秋の夜長の 小さな朗読会 #6

日時

平成19年11月20日(火)  
開場 17:30 開演 19:00

場所

つきだて花工房ロビー

料金

1000円

「こんにちは、島岡安芸和です。今年も朗読会の季節がやってきました。今年の作品は、様々なニュースが飛び交う現代社会、そこで生活する私たちがひとりひとりにテーマを投げかける2作品を選びました。明るく、笑顔あふれる社会で、人々が幸福に暮らす日が来ることをと願いつつ、気持ちをこめて朗読させていただきます。」

劇団青年座研究所卒業後、劇団夢の遊眠社を経て森本レオに師事し、語り、ナレーション術を学ぶ。以後、俳優業と並行してテレビ・ラジオのナレーションに数多く出演。  
2002年より、より多くの子供から大人まで、映画や演劇と同じように気軽に楽しむことの出来るエンターテインメント性を持つ朗読作品を目指し、独自のスタイルで活動している。  
テレビCMのナレーションでは、「SONY VAIO」花王トイレットペーパー「ソニー」など、現在多数出演している。



島岡 安芸和

演出 島岡 安芸和 ◆ 音楽 古後 公隆



浜田 えり子

博島館ミュージカル「スタートライン」で主演デビュー。持ち前の歌唱力を活かし、ミュージカルの舞台を中心に活躍中。つきだて花工房の朗読会も第4回目の「夕鶴」つう役に続き2度目となる。他に主な出演作品は、劇団四季「ライオンキング」シアター1010「ミュージカル「スガナレ」紀伊国屋ホール「黄昏のメルヘン」等がある。

キャスト

キャスト：島岡安芸和 浜田えり子  
佐藤研児

演奏：古後公隆(チェロ)  
日ノ下慶二(ピアノ)

演出補：松永さち代

※チケットの販売は10月3日より  
つきだて花工房フロントにて



「植物画を描いていると、いままで気づかなかった自然のすばらしさを発見することもしばしばです。それが地球の環境を守るう、ひいては人間が共に力を合わせて生きていこう、ということにつながれると思います。」 作者あとがきより

「花と実の混色手帖」若松倫夫  
四季折々の花や実、53種を掲載、16色の絵の具で、無限に広がる色彩方法や、下書きポイントがわかりやすく紹介されています。

心を贈る 絵手紙



伊達市月館町・長谷部真智子様

本のご紹介

**インクオクセッション**  
【梁川】三浦弥平杯ロードレース  
10月28日(日)  
梁川分庁舎(スタート・ゴール)  
【月館】小手姫の里秋まつり  
11月3日、4日(土・日)  
月館中央公民館にて  
【梁川・保原】ニットフェア  
梁川 11月30日(金)〜12月2日(日)  
保原 11月16日(金)〜18日(日)  
保原市民センターにて

# 里

編集後記

さまざまな生命が宿る「ふるさと」  
そこで、自然と折り合いをつけながら暮らすことの楽しさ、大切さ、そして偉大さを教えてくれたのは、映画「水になった村」に登場する徳山村のおじいちゃん、おばあちゃんでした。「ふるさと」という言葉の響きが、どこかすぐすぐたくて苦手だった私の心境も、変し、ダムに沈まぬとも消えていってしまし、さうな日本のふるさとに、愛おしささえ感じてしまうこの頃です。はてさて、本当の豊かさを何だろうか?と思いつながら、何も変わっていない毎日の生活。当面の私のテーマは決して取柄とは言えない「夜更かし、朝寝坊」の改善でしょうか。

P3クイズの答え A=3 B=1 C=5 D=2 E=6 F=4

ムーン  
セラピー  
月の明かりで疲れた  
心を癒したい。  
いまずかカレンダーにチェック!!

【満月の夜】 10月26日(金)・11月24日(土)  
12月24日(月)

【新月の夜】 10月11日(木)・11月10日(土)  
12月10日(月)

木もれび通信30号  
読者プレゼント  
応募券